

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 240 号	氏名	赤松 紀彦
学位審査委員	主 査	朝長 万左男	
	副 査	由井 克之	
	副 査	松山 俊文	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、細胞増殖刺激と抑制の dual activity を有する IL-21 のリンパ系腫瘍細胞に対する作用を明らかにし、その臨床応用の可能性を探るもので妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 試験管内の液体培養系で IL-21 存在下の細胞増殖と抑制を観察する MTS assay 系は十分妥当なものである。フローサイトメトリー法による IL-21R (レセプター) および Annexin V (アポトーシス) の測定系も精度が高い。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 多くの種類のリンパ腫細胞に対する IL-21 の作用は増殖刺激と抑制 (アポトーシス) に分かれることが初めて確認された。特に B 細胞性リンパ腫細胞では IL-21R の発現が高く、ろ胞性リンパ腫細胞株 (SUDHL-4) での検討で、IL-21 により濃度依存性にアポトーシスが誘導され、Caspase/Bax 系の活性化が確認された。</p>			
<p>以上のように、本論文はサイトカインの IL-21 が B 細胞リンパ腫に対する治療薬となる可能性を初めて明らかにした研究であり、サイトカイン療法の新たな方向性をも示唆するもので、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			